

反歌二首 はんか

四二一五番

遠音とほおとにも 君きみが嘆なげくと 聞ききつれば 音ねのみし泣な
かゆ 相あひおも思おもふ我われは

四二一六番

世よの中なかの 常つねなきことは 知しるらむを 心こころ尽つく
すな ますらをにして